

星野学園小学校新聞

星野学園小学校
埼玉県川越市上寺山 216-1
〒350-0826 Tel.049(227)5588

星野学園小学校
Web

www.hoshinogakuen.ed.jp/hes/

気持ち新たに！新年の「コマ」 お正月会にかける情熱

一月九日(金)、十三日(火)にお正月会が行われた。お正月会とは、カルタや百人一首、書き初めを通してお正月を楽しむ行事である。一年の計は元旦にあり、と思えるほど全員が集中して会に臨んでいた。また、静寂の中にも、全員が楽しもうと心を躍らせているのが印象的であった。



百人一首5年生対決。すさまじい集中力です。

朗々と詠み上げられる百人一首。間髪いれずに子どもたちの元気な声と札を取る大きな音が体育館に響き渡る……。

一月九日は星野学園小学校のカルタ会だ。子どもたちはお正月の伝統的な行事にふれることで新年への気持ち新たにす。そしてこのカルタ



2年生の熱き戦い！先にとったのは！？

「秋の田の…」
会、三年生以上は異学年交流の場となつて、二年生以上は異学年の札をとるか話し合ったりと、各々作戦をたてて勝負に臨んで来る。五年生と六年生の高学年対決は、五年生一位のチームと六年生一位のチームが文字通りの頂上対決で雌雄を決したが、今年度は六年生に軍配があがった。敗れた五年生も六年生の貫録を感じたのか清々しい笑顔で拍手を送って



1年生の教室は、集中して静まり返っています。

星野学園小学校のwebページでは、子どもたちの活動を随時更新しています。学校説明会等の情報も掲載しています。

http://www.hoshinogakuen.ed.jp/hes/

「新しい年も、元気がいっぱいあります」。字数も増え二行となり、苦戦する子どもも多かった。一年生の課題は「ひつじ」。まずは、丁寧になぞり書きを

二年生の課題は、「新しい年も、元気がいっぱいあります」。字数も増え二行となり、苦戦する子どもも多かった。一年生の課題は「ひつじ」。まずは、丁寧になぞり書きを

元元よく、とめ・はらいを意識して書いた三年生。平仮名の結び、漢字の基本的な筆使いを習得した四年生。平仮名と漢字との調和を学んだ五、六年

三学期が始まってすぐに六年生は試験ムードに切り替わる。今年度の漢字検定は一月十六日、英語検定は一月二十四日に行われた。

し、文字の大きさに注意し、文字の中心を整えて書く練習をした。鉛筆とは違うフェルトペンの感触をつかみながら、緊張感を保持して取り組んでいた。清潔では、練習の成果を発揮し、堂々と書き上げ、皆満足するような表情だ。



さすが6年生。文字の大きさを工夫して書きました。

とができる。一、二年生は毛筆で書かれた上級生の作品を見て、筆を持つ日が待ち遠しいようだ。気持ちも新たに新年を迎えた子どもたち。あつという間の三学期だが、一日一日を大切に、充実した日々を過ごしてほしい。(田中・海野)

二つの検定は短い期間にまつている。そのことを見越して、冬休みの間、または冬休み前に準備に取り組み児童も多い。しかし、大切なのは日々の積み重ねである。国語、英語は一年生の頃から学習しており、学校の授業と毎日の家庭学習で学力は身に付いていく。そのため、記事冒頭で掲げた目標以上の級の取得を目指す児童も多い。中学校卒業水準である漢検・英検の三級以上を取得している児童もいる。皆自分で自分の力を発揮する場として、高い意識をもって検定に取り組む。合格結果が発表されるのはまだ先だ。人事を尽くして天命を待つのみだ。(田中)

検定行事

【目標】漢字検定五級以上
英語検定五級以上

星野学園小学校では、一年の終わりを大きな行事で締め括る。それはクリスマス会だ。偶数年度は学年のみの発表会を行い、奇数年度はハーモニホールに保護者の方を招いて全校規模で行う。今年度は十二月十一、十二日にそれぞれの学年が様々な形でクリスマスを祝い、年内最後の行事を楽しんだ。

一年生は、ALTのパットン先生によるクリスマスゲームやクリスマスビンゴで楽しんだり、みんなでクリスマスソングを歌ったりした。二年生は、生地から手作りのクリスマスオーナメント作りに挑戦した。三年生は、英語劇を披露した。一人ひとりが英語の台詞に挑戦



1年



2年

し、たくさん練習した。また、クリスマスにちなんで、たくさん練習した。また、クリスマスにちなんで、たくさん練習した。また、クリスマスにちなんで、たくさん練習した。

心が躍る クリスマス会

四年生は、まっぼつくりを使って小さなクリスマスツリーを作った。一つは自分用に、もう一つは感謝の気持ちを込めてお家の方へのプレゼントとして。綿やビーズを器用に飾り、思い思いの素敵なツリーを完成させた。



3年



4年

また、クリスマスにちなんで、たくさん練習した。また、クリスマスにちなんで、たくさん練習した。また、クリスマスにちなんで、たくさん練習した。

五年生は、その名も、「サンタ騎馬戦」。四人で作った「大将騎馬」を、サンタ帽をかぶった「おんぶ騎馬」たちが守る。四年生からは、「サンタがいつぱいいるうー!」との声。勝敗よりも、子どもたちの笑顔と元気いっぱいの声印象的だった。(手塚・海野)



5年

社会科見学

一月十五日、三・四年生が社会科見学を実施した。

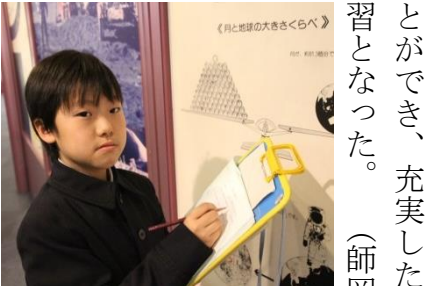
三年生はまず、川越西消防署名細分署を訪れた。消防署の方からお話をうかがっている間、三年生は書ききれないほど、熱心にメモをとっている様子だった。また、署内にある様々な種類の車両や、救助活動の時に使う道具を見ることもでき、終始おどろきの声をあげていた。子どもたちは、消防署



3年生は消防署へ。消防車の仕組みを学習中です。

校外学習

十二月十日、さいたま市青少年科学館で校外学習を行った。科学館に到着すると、まずプラネタリウムの鑑賞をした。月の動きや、星にまつわる神話等を学ぶ中で、初めて知ったことも多く、子ども達は感嘆の声をあげていた。また、鑑賞の後には、係の方が質問に答えてくださり、自分たちが疑問に思っていることを丁寧に解説していただいた。



展示から学びとる4年生。

白鳥観察

一月二十九日(木)、一年生が「冬の自然観察」と題し、白鳥を観察しに出かけた。雨天により延期となっていたが、当日は天候にも恵まれ、多くの白鳥が一年生を迎えてくれた。

事前学習において、白鳥の生態を学んでいたため、川島町にある白鳥飛来地で貴重な体験をすることができた。静かに佇む白鳥、澄み渡る大空を優雅に舞う白鳥の姿に



4年生は消火器を上手に使って火を消しました。

鳥が泳いできた。学校に戻ってからでも、一年生のみんなは、耳や目に焼き付けたその感激を、事後学習において、一人ひとりが言葉と絵で観察日記としてしおりにまとめた。(手塚)

縄跳び記録会

二月十三日(金)、一・二年生は星野ドームで縄跳び記録会を行った。子どもたちは班に分かれて、跳べた合計回数を競い合う。前半は、前跳び・後ろ跳び・駆け足跳び等の記録会を行い、個人の跳べた回数を班の得点とする。後半には、一年生は縄跳びリレー、二年生は八の字跳びで、班のメンバーと協力して競い合う。

この日のために、子どもたちは体育の時間を中心に、一生懸命に縄跳びの練習をしてきた。本来、個人競技である縄跳びでも、この縄跳び記録会では班ごとの成績を競い合うた際に、まるで一年生めにチームでの協力が欠かせない。子どもたちも、お互いに声を掛け、応援し合い、元気がよく楽しく取り組んでいた。(手塚)



白鳥と対面できた1年生。